

進級して2ヶ月が経とうとしています。そら組・うみ組の子どもたちは、新しいクラスでの生活にも慣れてきました。進級当初は、好きな遊びの中で4歳児の頃に楽しんできた遊びをする姿が多く見られましたが、生活に慣れてくると、進級して新しく使えるようになった遊具や場所を使ったり、年長になって同じクラスになった友達と関わったりしながら遊ぶ姿も見られるようになってきました。これから遊びの幅を広げながら、友達と一緒に様々な経験を重ねていけるようになっていきます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

- 1 健康な心と体
- 2 自立心
- 3 協同性
- 4 道徳性・規範意識の芽生え
- 5 社会生活との関わり
- 6 思考力の芽生え
- 7 自然との関わり・生命尊重
- 8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 9 言葉による伝え合い
- 10 豊かな感性と表現

幼児期の終わり、すなわち小学校入学までに育ってほしい姿や力をみる視点を示したものです。

(幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されています。)

日々の保育の様子や子どもたちの姿を『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の10の視点を通して見ていきたいと思っています。

自然に親しんでいます

草花を使って色水遊びをしたり、虫探しをしたりして楽しむ姿が見られます。色水遊びでは、すりこぎとすり鉢を使って花びらや葉をこすると、色が出てくる面白さを感じたり、使う草花の種類を変えて試したりする姿が見られます。

身近な生き物に対する親しみや成長への期待を感じている。

7 自然との関わり・生命尊重



アゲハチョウの幼虫がさなぎになって、チョウになった!

楽しんでする中で、小さな変化に気づき、友達や保育者に伝える。

10 豊かな感性と表現



栽培物の生長を喜び、見たり触れたりする中で、発見する。

7 自然との関わり・生命尊重



キヌサヤの中には豆がいっぱい入っていたよ!

すりばちとすりこぎを使って、花や葉をこすってみたら、だんだん色が出てきたよ!

多様な体の動きを体験しています

年長になって使えるようになった竹馬やホッピングでは、はじめはバランスがとれずすぐに倒れてしましますが、「3秒できた！」と少しの成功体験から意欲がわき、できるようになるまで繰り返し取り組む姿が見られました。友達の挑戦する姿を見て、応援したり、自分もしてみようと刺激を受けたりもしています。



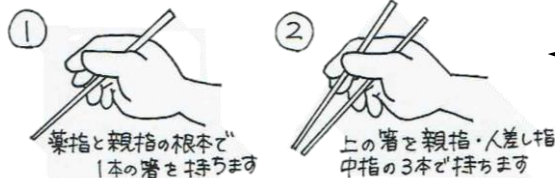
幼児期は、体の基本的な動きを身に付けやすい時期です。この時期に、様々な動きを体験することで、体力や運動能力が向上するだけでなく、とっさのときの身を守る動きにつながったり、できるようになると粘り強く取り組む意欲が育まれたりします。

今年度、さくらだこども園では『しなやかで たくましい幼児の育成』を主題として幼児の体作りについて園内研究を進めていきます。遊びや生活を通して、子どもたちがいろいろな動きを体験し、身に付けられるようにしていきたいです。研究の学びは、随時、掲示板や学年だよりで発信していきます。

今後について

○箸に挑戦しています

給食では、できるだけ箸を使って食事ができるように、最初の数口は箸で食べてみるよう指導をしています。最初は難しくても、少しずつ箸に慣れていけるように体験を重ねていきたいと思っています。箸の持ち方は鉛筆の持ち方につながります。ご家庭でも、箸の持ち方を確認したり、箸でつまみやすいものから挑戦したりしてみてください。



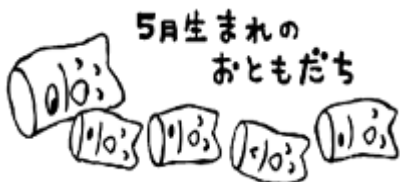
中指と人差し指で
上の箸を動かします。

○布巾絞りや、やかんでのお茶汲みをしています

給食の前後に、当番が台拭きを絞って机を拭いたり、自分でお茶を注いだりしています。ご家庭でも、お子さんが、食事の前に台拭きを絞って食卓を拭いたり、お風呂で薄めのタオルを絞ったりする機会をつくり、見守ったり、方法を知らせたりしてみてください。体験を積み重ねていくことで、やり方や加減が分かるようになっていきます。



おたんじょうび おめでとう!



<そら組>

<うみ組>